



## 幸せは歩いてこない

前回の通信で、「4志望分野」のアンケート結果のコメントとして、「来年の今ごろまでには、とりあえず一つに絞らないとネ」と書いた。後期中間考査が終わり、3年生はいよいよ特別授業（例えば、国語科ではセンター試験の予想問題演習などを行う）が始まり、2年生は来年の選択科目の締め切りとなる。こういう1年後、2年後のこともたまに意識しておくことは大切なのである。

\*

で、来年の今ごろは、3年生の時間割を完成させる時期ということになる。

3年生では、必修はすべて午前中に設定されていて、午後は自由選択科目となる。2時間連続×5日間だから、10時間分、つまり5科目を自由に選択できることになる。だから、例えば4科目8時間だけ選択すると、週のうちの一日は午前中で授業が終わることになるわけで、今こう聞くと何となくうれしい感じがするかも知れないが、実際はほとんどの諸君が5科目10時間選択する。部活もあるし、行事もあるから、結局午前中に授業が終わっても午後まで学校にいたことがほとんどだし、塾や予備校に行かないことを前提に受験科目をカバーしようとする、結局それだけの科目が必要になるからである。

さて、今、「受験科目をカバーしようとする」と書いたが、そのためには、

①自分が受験に必要な科目が分からなければならない

そのためには、

②自分が受験する大学・学部が決まっていなければならない

そのためには、

③自分がやりたいことが決まっていなければならない

と論理が展開することになる。大学で学ぶことは、その後の君たちの人生にある程度の結びつきをもつ（法学部に進学して医者になる人は（基本的に）いない）。つまり、「来年の今ごろまでには、とりあえず一つに絞らないとネ」となるのである。

実際に受験するのは「2年後」になるわけだが、その準備を始めるためには、「1年後」に自分の将来をある程度見通すことが必要になるということだ。分かった？

\*

この前の「進路調査」を見ていると、「自分が何がやりたいのか分からない」と思っている人が多いようだ。しかし、タイムリミットは設定されているわけだし、自分の進路は自分で決めるしかないわけだから、しっかり自分で責任をもつしかない。

親と話し合ってみることも必要だろうし、友だち同士で話題にしてみることもイイことだ。教室には「蛍雪時代」もあるし、余裕のある冬季休業日の間に、大学のホームページをネットサーフィンしてみてもイイ。関連教科の先生に質問することもできる。さらに、2年生の間には、オープンキャンパスに出かけたり、大学祭や進路に関するイベントに出かけてみるといったことも必要だろう。

『論語』にも「思而不学則殆」とあったし、水前寺清子は「♪幸せは歩いてこない、だから歩いて行くんだね…」と歌っていた（古すぎる…）。考えてばかりいないで、実際に行動してみることも大切だろう。